



速報

# うでっこき 4号

2017年8月7日(月)  
第49回全国保育団体合同研究集会 iN埼玉

## 分科会 35 公立保育施設の民営化・こども園化について考える

野田市、名古屋市、京都市、八尾市とそれぞれの民間委託、こども園化の状況が職員組合の立場、保護者の立場から報告され、手法が色々であることがわかりました。また、委託を受ける法人側の話、委託引き継ぎ保育をしている保育士の辛さなど、様々な立場の話を書くことができました。保育所・保育園が足りないといっている時に、子どもたちのためによりよい保育施設をつくるため、大人たちは知恵を出し合い運動しあうことが本当に大事だと思い、自分のいる地域で取り組みを進めたいです。

## 分科会 14 3・4・5歳児のあそびと生活

各提案者の方々の保育事例を聞き、年齢ごとのあそびや生活の違い、実践や反省を通して見えたことを学びました。

あそび・生活の面で、大人から子どもへの伝統を伝えていくことも大切ですが、今日の前にいる子どもの発信を逃さず、“子ども主体”で保育を進めていくことが、とても大切であると感じました。

制度に縛られ、自由に楽しめない保育ではなく、子どもと一緒に自分自身も楽しむ保育が重要であると分科会を通して学ぶことができました。明日からの保育に活かしていきたいです。



## 分科会 15 絵本・ごっこあそび・劇遊び

椅子が足りなくなるほどの大人気の分科会でした。孫悟空や桃太郎など提案者の先生が実際に園で行っているごっこ遊びについて伺ったり、そこから子どもがどう成長していったのか、保育者がどう関わって遊びを発展させていったのかなどのお話を聞くことができました。

遊びひとつとっても、それぞれの考え方や保育感の違いが大きく表れており、保育士たちの子どもに対する熱い思いや愛情が感じられ、自分の保育を見直せる機会となりました。



## 基礎講座 2 困難をかかえた子の保育と自己肯定感の育ち～仲間と育ちあう保育を創る～

講師 浜谷直人(首都大学東京教授)



会場内は席が足りなくなるほどの、多くの参加がありました。図を用いた説明や、時々笑いもあるわかりやすい講義でした。私が担任しているクラスにも気になる子がいますが、今回学んだことを活用して保育をしていきたいと思いました。

20代 保育士

## 基礎講座 5 貧困のなかでおとなになる～子どもの貧困の現状と私たちにできることは～

講師 中塚久美子(朝日新聞大阪本社記者)

子どもの貧困とは、貧困状態にある子どもとはどんなものか、親が抱える困難さは何か、子ども達の実際の状況などのお話があり、そこから自治体や行政がどう支援し関わっているかの説明を、具体例など交えながらお話ししていただきました。この講座を受けて、貧困は子どもの進学率に大きく影響していて、連鎖してしまうことがわかりました。そして、この連鎖を止めるためにも周りの大人の気づきやサポートが、とても重要であることを知りました。従って地域ぐるみで貧困状態にある子どもの把握を徹底し、援助が必要だと思いました。地域で子どもを孤立させないような取り組みやサポートが増え、1人でも多くの子どもが貧困から抜け出せればいいなと感じました。



次回開催地大阪

来年は、50回記念の大阪合研です！

埼玉でもらったパワーを増幅させ、全国の仲間の協力で、“かつてない合研”に仕上げていきたいと思ひます。

すでに、大阪実行委員会では、役員らで合宿をしたり、約220名で実行委員会結成集会を成功させたりと、準備が始まっています。

合研のテーマ・内容はこれからですが、僕としては、50回ということもあり、保育と保育運動の歴史に学び、未来につなげる、そんな合研にしたいと思っています。

エミール刊行から256年、日本初の託児所設立128年、無産託児所の開設から87年、児童福祉法制定から71年、第一回母親大会から63年、大阪保育運動連絡会設立から54年、子どもの権利条約批准から24年。

これらの歴史の中で何を守り、何を発展させてきたのか？いまの精一杯の保育とはどういうものか？子どもが健やかに育つことができる平和な未来のために何が必要か？老若男女とりまぜて、大きな視点で「保育と保育運動の過去、現在、そして未来」を学び、交流し、メッセージを発信するすてきな合研にしたいと思ひます。

大阪にはうまいもんがいっぱいあるんやけど、それだけではありませぬ！

乞うご期待！！

第50回合研大阪実行委員長 河村 学



河村実行委員長



# 開催地企画

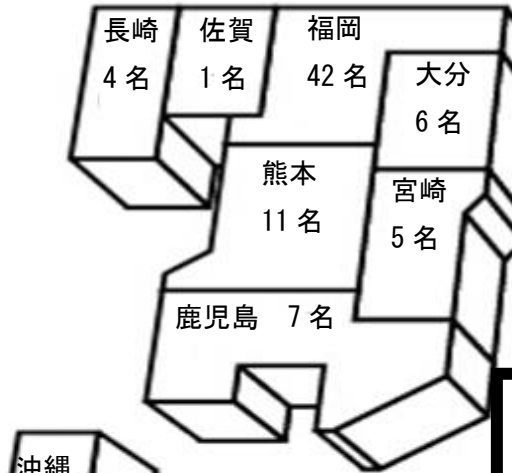
“子どもたちに平和な未来をつなごう”の願いを込めて行われた、  
 第49回全国保育団体合同研究集会 in 埼玉  
 平和ってなんだろと考え、学んでいく中で、戦争中にはここ埼玉に航空  
 基地があり戦地へと向かっていったということがわかりました。  
 戦後72年を迎え、原爆が落とされたヒロシマ、ナガサキ。今もなお、基  
 地をかかえている沖縄。二度と戦争が起らないよう心ひとつに誓いたい。  
 そして、この先も子どもたちが笑顔で安心して過ごせるよう思いを込めて  
 作られた開催地企画です。  
 200名による合唱、構成劇、110名でおくる力強いエイサー！！  
 みんなで一丸となり練習してきました。

今、埼玉から全国へ！ 鳴り響け平和へ足音！！



## トークセッション

子どもたちのために  
 みんなで動こう つながろう！



沖縄 8名



集会1日目に、みなさまにご協力いただいた  
 合研50回記念事業カンパは  
**82万402円**でした。  
 大切に使用させていただきます。  
 ありがとうございました。



「新・戦争の作り方」  
 (りぼんぶろじえくと)



中国からの参加者  
 上海の幼稚園から小田春香さんが「Twitterをみて  
 参加してくださいました。  
 人生初合研で「すごく感動しました！」と笑顔で  
 語ってくださいました。



ちいさいなかま部より

年間購入・・・23  
 単品購読・・・32  
 CDは37枚！

合計 **55** 部

## 埼玉合研参加者合計

**9320**名

たくさんのご参加  
 ありがとうございました！  
 たくさんのドラマが生まれました

